

を予防できると言われていました。ところが、奥州市は今年度から人間ドックの対象を19歳から39歳までに限定しました。県内では、盛岡市は年齢制限なし、一関市は30歳以上、北上市は19歳以上を対象にしています。当市においても、ガンの発病率が高いといわれている40歳以上を対象に実施すべきと思いますが伺います。

市長 40歳以上の方は、今年度から実施している特定検診と各種がん検診で、人間ドックの検査内容が網羅されることから、19歳から39歳までの方を対象としています。



ひでとし 秀俊
なかにし 中西 議員

○「災害に強いまちづくりの推進」自主防災組織を設立しよう！「遠くの親戚より、近所の結いの心を育てよう。」

質問 「地域の力でまちを守る」自主防災組織について伺います。

市長 「規模・きっかけ・方法」については、地域の自主性が基本となりますが、円滑な組織化を想定し、自治会組織など既存の組織と同じ枠組みでの結成を推奨しております。昨年の震災が冷めやらないうちに、今後（6月頃）、ハンド



自主防研修会（胆沢区）

マイク、腕章、ヘルメット等の資機材を防災組織や自治会代表者等に配布し、これを契機に組織の結成や育成を進めて頂きたいです。緊急告知ラジオは電波伝搬試験を行い、市内全域での利用可能を確認の上で購入・配布する予定です。

「規約・計画・編成」については、活動のプロセス案を作成しておりますので、これを基に各組織の実情に即した活動マニュアルや、体制・役割分担の作成を望みます。

「防災リーダーの育成」は防災研修会等で意識、知識の向上を図り、役割や位置付けの認識が必要です。

「伝達手段」は全市的には奥州FM、江刺わいわいテレビなど地域に既存するメディアを活用します。

質問 「2011年7月の地上デジタル放送の移行に伴う江刺区等の中山間部の難視聴世帯への対応」について伺います。

市長 2年後にアナログ放送が終了し、デジタル放送へ移行します。江刺区の難視聴地域共同受信施設は27施設あります。施設については、「えさしわいわいテレビ」への早期加入、または施設改修により対応を進めています。地上デジタル放送への移行に支障はないものと考えます。今後も完全移行までの的確に対応してまいります。

今年度、デジタル放送に関する「相談窓口2か所」の設置を検討します。なお、疑問や不安の解消、及び受信状況の情報をお寄せ頂きたいと思います。



くにお 邦夫
さとう 佐藤 議員

○ふるさとCM大賞in岩手について
○地域通貨について
○小中学校のスキー教室について

質問 テレビ朝日主催のコマーシャル大賞で奥州市は見事金賞

（知事賞）を獲得しました。市職員と民間の皆さんの協力、共同があつての結果であり、普段からの意思の疎通が結果を生んだと思います。金一封に値し、他の部、課ともこの行政と民間のあり方を手本にしてはどうか伺います。

市長 すばらしい結果を出してもらいねぎらいの言葉をかけました。このような民間と行政のあり方を参考にしたいと思います。

質問 地域通貨が実験的に衣川でスタートすることですが、盛岡でも商工会議所永野会頭が地域通貨を発行する旨の発言をしてお



衣川小学校のスキー教室